

第22回 神経筋診断セミナー

開催日: 2025年10月4日(土)・5日(日) 現地開催

🏠 入門コース: 神経筋診断の基礎を学ぶ

神経伝導検査や針筋電図などの、初学者にも理解しやすい実践レクチャーとハンズオンです。基礎的な理論から実際の臨床応用までを2日間で効率的に学べます。

📌 1日目と2日目の多くは固定カリキュラムですが、2日目の2・3限目のみ自由選択が可能です

1日目(土)固定カリキュラム

- 神経局所解剖/神経伝導検査(レクチャー) - 末梢神経解剖と検査の基礎を学ぶ
- 神経伝導検査(上肢)(ハンズオン) - 刺激装置の扱い方、電極の張り方等実践
- 針筋電図検査(basic)(レクチャー) - 安静時放電と随意収縮の解釈を学ぶ
- 神経伝導検査(下肢)(ハンズオン) - 基本手技の習得やピットフォールを学ぶ

2日目(日)カリキュラム

- 波形解釈(NCS)(レクチャー) - 実例を通して神経伝導検査波形を学ぶ
- 波形解釈(EMG)(レクチャー) - 波形解釈の理論を学び動画をみて実践
- NCSが役立つcommon disease - 臨床応用を疾患の側面から学ぶ
- 2・3限目自由選択 - マイセレクトコースの中からセッションを選択可能
- 筋電図よろず相談室(初級編) - 日常診療での疑問に講師陣が回答

📌 マイセレクトコース: 自分の興味に基づき実習をデザイン

多彩なハンズオンや専門セッションから自由に選択し、自身の関心領域やスキルに合わせた学習が可能です。初級向けのコースをとることも、発展レベルのコースでまとめることもできます。

📌 すべてのセッションを自由に選択可能。プログラムごとに定員があります。

● Hands-on(実践)

- 上肢/下肢 uncommon NCS
- MUNE・F波・H波
- 反復神経刺激試験
- 針筋電図 (uncommon)
- 超音波検査
- 小径線維
- SFEMG (vol./stim.)
- Magnetic stimulation
- 体性感覚誘発電位
- ボツリヌス
- 筋電図よろず相談

● EDX seminar (workshop)

- 下垂足 - 診断プロセスと鑑別
- ALS - 針筋電図・超音波検査を中心に
- 肩挙上困難 - 脳内・整形の視点から
- 下垂手・下垂指 - 脳内・整形の視点から
- 下肢近位筋力低下 - 脳内・リハビリの視点から
- 尺側しびれ - よく遭遇する病態の鑑別診断
- 問題症例の筋電図 - 経験症例を迫体験
- 機能性神経障害 - ヒステリーへのアプローチ

● Round table (small group lecture)

- 軸索興奮性
- ニューロパチー
- 臨床のためのME
- motor unit
- 筋チャネロパチー
- 糖尿病性ニューロパチー
- 三叉神経・顔面神経
- 神経根症
- 超音波AI
- CuTS・CTS
- 跳躍伝導の生理学
- 末梢神経損傷(機能予後)

詳細プログラム

(申込時までに変更があります)

入門コース

Hands-on

EDXセミナー

ラウンドテーブル

初級

初級から中級

中級から発展

初級から発展

定員()

10月4日(土)・5日(日) 多くの講義は両日とも開催

時間	マイセレクトコース			
	入門コース	Hands-on	EDX seminar	Round table
9:00 - 10:20	<ul style="list-style-type: none">■ 神経局所解剖/神経伝導検査 (18) 神経筋診断に重要な末梢神経解剖を学ぶ。神経刺激での動き、支配する感覚領域、障害時の変化などを学ぶ<1日目>■ NCS波形解釈(レクチャー) (18) 神経伝導検査波形の解釈を事例を通して学ぶ<2日目>	<ul style="list-style-type: none">■ 上肢uncommon NCS (5) 外側・内側前腕皮神経などのNCSを自信をもって実施できるようにする■ MUNE・F波・H波 (5) 運動単位数推定・F波・H波の原理と検査手技、臨床応用について学ぶ■ 小径線維 (5) 小径線維の検査と評価法を学ぶ■ stimulating-SFEMG (5) 電気刺激を用いた同芯針電極による単線維針筋電図の検査手技とピットフォールを学ぶ	<ul style="list-style-type: none">■ 下垂足 (15) 遭遇する頻度の高い「下垂足」の臨床像を知り、神経伝導・針筋電図検査により診断していくプロセスと鑑別診断について学ぶ■ ALS (15) ALSの診断における針筋電図・神経筋超音波検査の果たす役割、また検査の計画や結果の解釈、アプローチについて理解を深める	<ul style="list-style-type: none">■ 軸索興奮性 (10) 軸索興奮生理についての基礎知識と、閾値追跡法による興奮性評価について学ぶ■ ニューロパチー (10) ニューロパチーの実践的な鑑別診断について学ぶ
10:40 - 12:00	<ul style="list-style-type: none">■ 上肢NCS(Basic) (18) 神経伝導検査の一般刺激装置の扱い方、電極の張り方等)について実践できるようにする<1日目>■ EMG波形解釈(レクチャー) (18) 針筋電図波形を解釈するための理論と、動画を見ながらどう考えるかのディスカッションを行う<2日目/他講義も選択可>	<ul style="list-style-type: none">■ 下肢uncommon NCS (5) 伏在・浅腓骨・足底神経などのNCSを自信をもって実施できるようにする■ 針筋電図(uncommon) (5) やや難しい被検筋毎のピットフォールや特徴、動員パターンの評価を学ぶ■ ボツリヌス (5) ボツリヌス毒素療法で施注の標的筋となる頻度の高い筋肉の同定にあたり、電気刺激や超音波ガイドによる精度の向上、および電気生理学的な痙性評価(H波など)について学ぶ■ 筋電図よろず相談室 ～あなたの疑問に答えます～ (15) 普段から検査を実施しているなかで感じている疑問に講師陣が答えます	<ul style="list-style-type: none">■ 肩挙上困難 (15) 「腕が上がらない」という訴えへのアプローチについて、脳神経内科・整形外科それぞれ視点から学ぶ■ 下垂手・手内筋萎縮 (15) 「手首や指が上がらない」という訴えに対する脳神経内科・整形外科の立場からの鑑別と診断のための検査の進め方について学ぶ	<ul style="list-style-type: none">■ 筋チャネロパチー (10) 遺伝性ミオトニア・周期性四肢麻痺症候群の電気生理学的評価法と解釈について学ぶ■ DMneuropathy (10) 患者の生命予後に及ぼすインパクトと、伝導検査による客観的重症度診断の手順について考える■ 三叉神経・顔面神経 (10) 三叉神経・顔面神経の臨床電気生理学について学ぶ
13:00 - 14:20	<ul style="list-style-type: none">■ EMG lecture(Basic) (18) 針筋電図の覚えるべき安静時電位の解釈と随意収縮活動の評価について学ぶ<1日目>■ NCSが役立つcommon disease(レクチャー) (18) 神経伝導検査の臨床応用を疾患の側面から学ぶ<2日目/他講義も選択可>	<ul style="list-style-type: none">■ 下肢uncommon NCS (5) 伏在・浅腓骨・足底神経などのNCSを自信をもって実施できるようにする■ 反復刺激試験 (5) 反復刺激試験の検査手技とピットフォールを学ぶ■ 体性感覚誘発電位 (10) 体性感覚誘発電位の検査手技とピットフォールを学ぶ■ voluntary-SFEMG (5) 随意収縮を用いた同芯針電極による単線維針筋電図の検査手技とピットフォールを学ぶ	<ul style="list-style-type: none">■ 下肢近位筋力低下 (15) 「下肢近位筋力低下」という訴えに対するアプローチについて、脳神経内科・リハビリテーション科それぞれの視点から学ぶ■ 尺側しびれ (15) 脳神経内科・整形外科それぞれの視点から遭遇頻度の高い主訴に対するアプローチの仕方学ぶ	<ul style="list-style-type: none">■ 神経根症 (10) 神経根症の診断と評価■ 臨床のためのME (10) 神経伝導検査や針筋電図に関係した、臨床に役立つMEについて学ぶ■ 超音波AI (10) 筋電図や神経筋超音波データを用いたAI(人工知能)解析について理解する
14:40 - 16:00	<ul style="list-style-type: none">■ 下肢NCS(Basic) (18) 基本的手技やピットフォールについて学ぶ<1日目>■ 筋電図よろず相談室(初級編) (18) 神経伝導検査・筋電図検査を中心に、セミナーでの疑問だけでなく、普段から検査を実施しているなかで感じている疑問に講師陣が答えます<2日目>	<ul style="list-style-type: none">■ 上肢uncommon NCS (5) 外側・内側前腕皮神経などのNCSを自信をもって実施できるようにする■ 針筋電図(uncommon) (5) やや難しい被検筋毎のピットフォールや特徴、動員パターンの評価を学ぶ■ 超音波検査 (5) 主な末梢神経・筋を超音波で同定するポイントと代表的疾患の特徴的な異常所見について学ぶ■ 筋電図よろず相談室 ～あなたの疑問に答えます～ (5) 普段から検査を実施しているなかで感じている疑問に講師陣が答えます	<ul style="list-style-type: none">■ 問題症例の筋電図 (15) 講師がそれぞれ経験した症例を元に、検査の計画、解釈から治療へのプロセスを追体験して、神経筋電気診断の考え方を習得する■ 機能性神経障害 (15) 機能性神経障害(ヒステリー)へのアプローチについて学ぶ	<ul style="list-style-type: none">■ CuTS・CTS (10) 肘部管症候群、手根管症候群などの絞扼性神経障害の臨床像と神経伝導および神経超音波検査の方法や解釈につき学ぶ■ 跳躍伝導の生理学 (10) 跳躍伝導の生理学について学ぶ■ 末梢神経損傷(機能予後) (10) 末梢神経損傷について、神経筋超音波や神経伝導・針筋電図検査を用いる診断・予後予測や、新しい治療のトピックスについて学ぶ

本セミナーの特徴

臨床に直結する神経筋電気診断技術

本セミナーでは神経筋疾患の電気診断における基礎理論から最新技術まで、実践的な知識と技術を体系的に学ぶことができます。

習得できる診断技術と知識

神経伝導検査技術

- 定型的・非定型的神経伝導検査手技
- 波形解釈の理論と実践
- 異常波形の鑑別診断への応用
- F波・H波・MUNE等の特殊検査

針筋電図検査技術

- 安静時電位の系統的解析
- 随意収縮時の定性的評価
- 単線維針筋電図の臨床応用
- 難易度の高い被検筋への対応

臨床応用例:ニューロパチー、絞扼性神経障害、運動ニューロン疾患、筋疾患、神経筋接合部疾患、脊椎髄疾患など幅広く神経筋疾患の診断・評価・経過観察に直接役立つ技術を習得できます。

一流の講師陣と多様な受講者に対応した学習環境

国内トップレベルの神経筋電気診断の専門家による直接指導と、少人数制のハンズオンにより効率的に身に着きたい技術が習得できます。

講師陣は神経伝導検査・針筋電図検査の国内有数のスペシャリスト。
質問しやすいオープンスペースでエキスパートに直接指導を受けることができます。

神 神経内科専門医
神経筋疾患の鑑別診断に

整 整形外科専門医
絞扼性障害・脊椎髄疾患・超音波

リ リハビリテーション科医
機能評価と神経機能研究に

初 初学者
学び始めた病棟医も一挙に技術習得

普段習得しにくい神経生理検査の理論と技術が学べる国内最大級のセミナー

- 少人数制のハンズオンによる手技の確実な習得
- 疑問点をその場で解決できる双方向コミュニケーション
- 日本臨床神経生理学会認定医・認定技術者をを目指す方に最適
- 非会員も受講可能 現地で入会も可能

